

令和8年度



7月ようちえんだより



二亀幼 HP

令和8年6月25日
江東区立第二亀戸幼稚園
園長 芦田 敦子

「もっとやりたい」の原動力

園長 芦田 敦子

先日は、プールの設営と水遊び遊具の準備のご協力、本当にありがとうございました。おかげさまで、こどもたちは毎日お天気を気にしながら「今日は入れるね!」と喜びながら水遊びを楽しんでいます。

水遊びコーナーでは、ただ水に触れるだけではなく、水車やホースを使いながら「重ねたらどうなるかな」「もっと長くするにはどうしたらいいだろう」など、試したり工夫したりしながら楽しみ、上手くいくと「もう一回!」と繰り返す姿が見られています。このような姿からは、水の流れや量の違いに気付く力や、自分なりに試して確かめていく、その子なりの「探究心」が育まれていることを感じます。また、繰り返し挑戦する中で、「できた」という満足感や自信も積み重なっていきます。

また、プールではペンギンやワニになって水の中を動いてみたり、顔を水につけたり潜ってみたりするなど、少しずつ自分なりの挑戦をする姿も見られます。特に年長組のこどもたちは、友達がしていることにも関心が高く、同じように挑戦して、怖がっていた動きもいつの間にか少しずつできるようになってきました。できるようになったことで、さらに「もっと!」と繰り返すことを楽しんでいます。

こどもたちの遊びには、この「もっと」の気持ちがとても大切です。楽しくなければ「もっと」は生まれてきませんし、試したり工夫したりする時間や場所が十分確保されていないと「もっと」をすることができません。また、教師が「すごいね! さっきよりも長くなったね」「勢いが強くなって面白い!」などと、どこを工夫したのか気付いてくれて認めてくれるような声掛けをしてくれることで、こどもたちの探求が“価値あるもの”となり、さらに学びの芽につながっていきます。

これからも、遊びの中で感じた不思議や発見を大切にしながら、子どもたち一人一人の思いや学びが豊かに広がっていくよう見守っていききたいと思います。



学年の目標

年中 ばら組

- 自分の思いやイメージを動きや言葉で表しながら、教師や友達と関わって遊ぶ楽しさを感じる。
- 学級での活動の中で、自分なりに動くことや友達と一緒に動くことを楽しむ。
- 様々な水遊びを通して水に親しんだり、気持ちよさや解放感を味わったりする。

年長 ゆり組

- 友達に思いや考えを伝えたり、相手の話を聞いたり受け入れたりしながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 自分なりのイメージや目的をもち、様々な素材や道具を使って試したり、工夫したりして遊ぶことを楽しむ。
- プール遊びの中で、解放感を味わったり、自分なりのめあてをもって挑戦したりする。